■リニアを活かした交流圏拡大道路整備事業（リニア関連道路整備事業）

県では、リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させるため、平成26年3月に「長野県リニア活用基本構想」を策定しました。
この構想の実現に向け、平成27年度以降新たに「リニア関連道路整備」として、以下の1～4を実施し、平成39年のリニア開業時までに効果発現を目指します。

1　長野県駅の周辺整備

広域交通･地域振興の拠点として、利便性と快適性を兼ね備えた駅機能を確保するとともに、駅周辺の交通渋滞を緩和します。

2　高速道路とリニアを一体化する道路整備

リニアによる大都市圏との時間短縮効果をより広範囲に拡大させるため、高速道路と長野県駅を直結させるとともに、スマートICを設置します。

あわせて高速道路の通行止めにも対応できるよう、並行する国道153号も整備します。

3　ＪＲ東海のトンネル発生土運搬路確保に合わせた道路整備

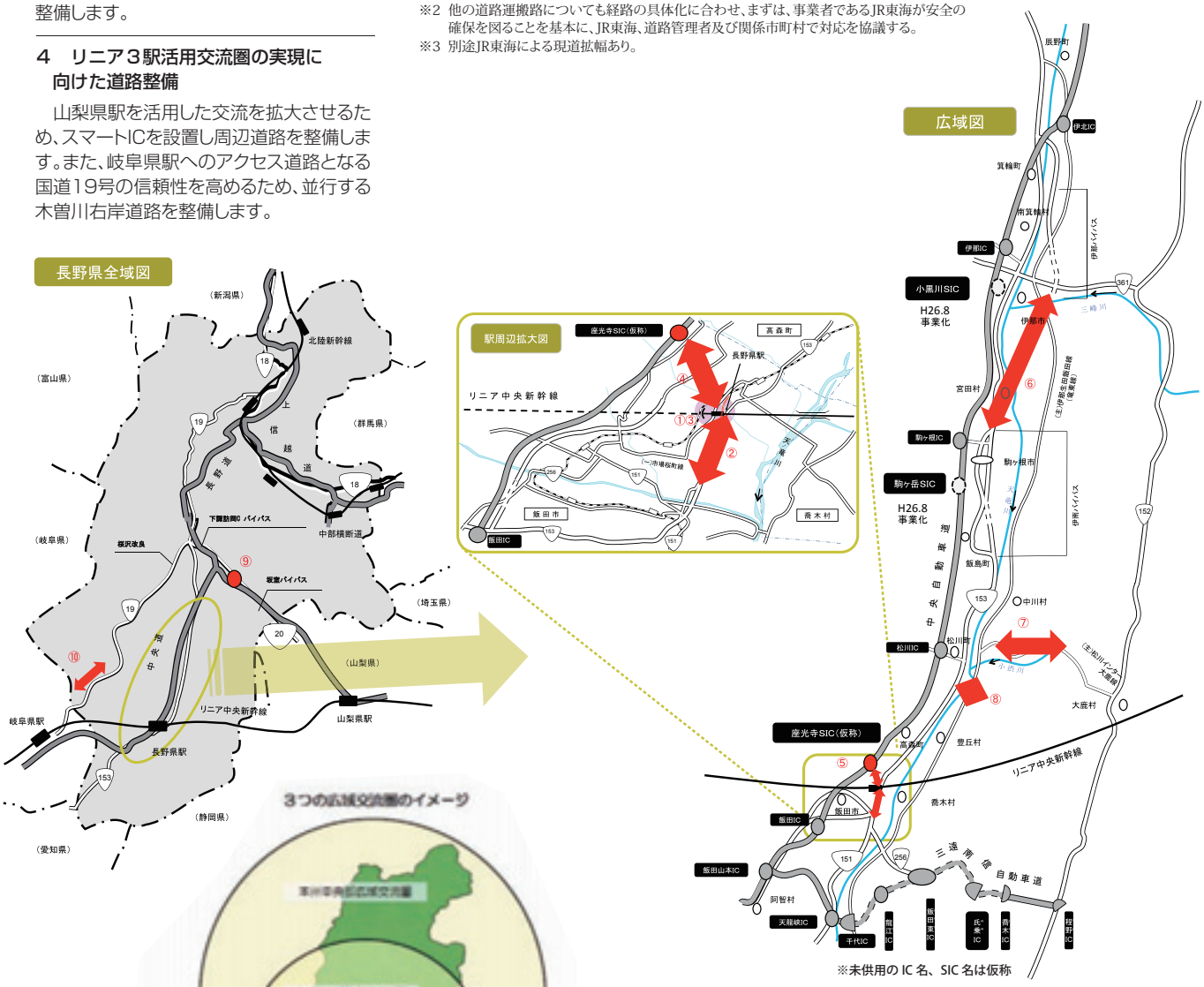
JR東海によるトンネル工事発生土の運搬路の安全確保に合わせ、道路を効率的に整備します。

4　リニア３駅活用交流圏の実現に向けた道路整備

山梨県駅を活用した交流を拡大させるため、スマートICを設置し周辺道路を整備します。また、岐阜県駅へのアクセス道路となる国道19号の信頼性を高めるため、並行する木曽川右岸道路を整備します。

区分	番号	箇　所	H30 実施内容（予定）
1	①	交通広場、駐車場等	駅周辺整備基本設計　（飯田市） 用地測量・物件調査
	②	(国)153 号 飯田北改良	〈H28 事業着手〉 詳細設計・物件調査
	③	(都)小沼飯田線・飯田市上郷 ((一) 市場桜町線)	用地測量・物件調査
2	④	(主)飯島飯田線・(一) 上飯田線 座光寺上郷道路	〈H28 事業着手〉 詳細設計・用地測量・物件調査
	⑤	座光寺 SIC（仮称）	〈H28 事業着手（H28.6 連結許可）〉 埋文調査・用地補償・橋梁下部工地（飯田市ほか）
	⑥	(国)153 号 伊駒アルプスロード ※1	環境影響評価（評価書）
3※2	⑦	(主)松川インター大鹿線　渡場～滝沢 ※3	〈H27 事業着手〉 トンネル工
	⑧	(主)伊那生田飯田線　松川町　宮ヶ瀬橋	〈H27 事業着手〉 橋梁工（上下部）、道路築造工、用地補償
4	⑨	諏訪湖 SIC（仮称）　他周辺道路整備	ルート検討 測量・地質調査
	⑩	木曽川右岸道路（読書ダム～戸場ほか）	〈H28 事業着手〉 調査・測量設計、用地補償、道路築造工

※1　長野県で調査を進め、整備主体はルート等が決定した段階で検討する。
※2　他の道路運搬路についても経路の具体化に合わせ、まずは、事業者であるJR東海が安全の確保を図ることを基本に、JR東海、道路管理者及び関係市町村で対応を協議する。
※3　別途JR東海による現道拡幅あり。



国においては、三遠南信自動車道(飯喬道路)、国道19号桜沢改良、国道20号坂室バイパス、下諏訪岡谷バイパス、国道153号伊南バイパス(権限代行)の事業を進めています。
また、長野県内の幹線道路網調査も進めています。